

# 冬でも元気な子どもたち

2018なかどまり冬まつり

1月27日(土)、農産加工販売施設ピユアで、なかどまり冬まつりが行われ、約500人が来場しました。

オープニングは応援に駆け付けた子ども園児童らによるお遊戯が披露され、来場者からは声援が贈られました。

会場では、お汁粉や豚汁の振る舞

い、雪上綱引き、ビンゴ大会で盛り上がりました。

また、恒例の大型すべり台が作られ、子どもたちには大人気でした。遊びにきた子どもたちは「すべり台が楽しかった。もっとすべりたい」と笑顔で話していました。



来場者みんなて振る舞い豆まき



大人気のすべり台

## 故郷で活躍を誓う

阿武咲関三役昇進祝賀会

平成29年12月21日(木)、町総合文化センターパルナスにおいて、町出身力士の阿武咲関の三役昇進記念祝賀会が行われ、支援者や地元の相撲ファンら470人が集まりました。

濱館町長は冒頭で「阿武咲関の三役昇進を心からお祝いします」と祝辞を述べました。阿武咲関の親方である阿武松親方は「日頃の泥臭い稽古と本人の研究の成果がでてきた。応援してくださる皆様のおかげです。これからも成長を温かく見守ってください」と挨拶しました。

その後、中泊道場の後輩たちから花束が贈呈されたほか、相撲甚句が披露されました。また、阿武咲関と親方との交流や写真撮影で盛り上がりました。

参加した中泊道場の後輩たちは「阿武咲関のように強くなりたい。大相撲で阿武咲関と戦いたい」と闘志を燃やしていました。



道場の後輩たちと

# 津軽鉄道活性化へチーム発足！

津鉄ア・モーレ  
結成式

中泊町と五所川原市を結ぶ津軽鉄道の利用活性化を目的とした、両市町職員による活性化促進チーム「津鉄ア・モーレ」の合同結成式が1月9日(火)、五所川原市役所で行われました。これは近年利用者数が落ち込んでいる津軽鉄道が地域に必要な公共交通であることから、利用活性化に向け職員がアイデアを出し事業化などを検討していくものです。結成式ではメンバーがそれぞれ意気込みを披露しました。

19日(金)には、五所川原市役所で津軽鉄道株式会社の白鳥総務課長を講師に迎えての研修会が行われました。研修会では、津軽鉄道の沿革や現在の取り組み状況の説明があり、メンバーらは真剣な表情で聴いていました。白鳥総務課長は「我々職員では思いつかないような、斬新なアイデアで津軽鉄道を盛り上げて欲しい」と話していました。



津鉄ア・モーレ！



津軽鉄道の現状を学ぶ

## 笑う門には福来たる

駅ナカで  
新春初笑い市

新春を笑って迎えようと1月6日(土)、起きて夢見る会(会長・夏原謙二)が駅ナカにぎわい空間で「新春初笑い市」を行ないました。始めに金多豆蔵人形芝居が行われ、正月を題材としたやりとりに来場者から笑い声が上がっていました。芸能発表では、花柳穂紀桜会が新春舞踊を披露し、健康ダンス「べえ子ちゃん」が新春ショーを行いました。

また、つきたてのおもちの振る舞いには長蛇の列ができ「モチモチしておいしい。もう一つ食べたい」と声が上がっていました。最後は今年の運試しとしてビンゴ大会が行われ、来場者らは数字が読み上げられる度に一喜一憂して楽しみました。



花柳穂紀桜会



べえ子ちゃん



みんなでかけ声 ヨイショ！

# 2000年の伝統感じ木古内を堪能

木古内寒中みそぎ祭りツアー

1月15日(月)、地域公共交通の利用促進および道南エリアとの交流を目的に北海道木古内寒中みそぎ祭りツアーが開催され、中泊町や五所川原市から38人が参加しました。参加者らは津軽中里駅から奥津軽いまべつ駅まで路線バスで、その後は新幹線で北海道木古内町に向かいました。この日はあいにくの雨模様でしたが、木古内町では4人の行修者をご神体を抱いて厳冬の海に入りみそぎを行う、寒中みそぎを見学しました。水ごりも行われ、その迫力にツアー参加者からは驚きの声が上がっていました。

次に、木古内町の郷土資料館いかりん館に行き、お守りを作りました。また、いかりん館では、来場者1万人にツアー参加者の古川笑智子さんが選ばれ、木古内町の大森町長から記念品が贈られました。町イメージキャラクターのイカリんも駆けつけ、お祝いしました。最後に木古内町の道のお土産を買い、帰路につきました。参加者らは「2000年の歴史がある祭りですごく迫力があった。今度は晴れているときに見たい」と話していました。



水ごりの様子



お守りづくり



1万人記念！イカリんもいかりん館へ

## ソーシャル・ビジネス・プロジェクト 中里高校SBP活動日誌

平成29年12月26日(火)

鱈ヶ沢町の山村開発センターでSBPエリア交流会 in 青森津軽が開催され、中里高校SBP同好会も参加しました。交流会には他にも、鱈ヶ沢高校のSBP研究会、木造高校深浦校舎のふかうらSBP、愛知県からは高浜高校SBP、北海道からは天売高校が参加していました。

始めに各SBPの取組発表を行いました。私たちは、自分たちが考案したメバ焼き！の開発から完成までの経緯、これからの取組目標を発表しました。緊張しましたが、上手く伝えられたと思います。

次に、私たちのメバ焼き！、鱈ヶ沢高校SBP研究会の力士くんおやき、ふかうらSBPのマグ口焼きの実演・試食交流を行いました。「おいしい。もう1個食べたい」という声が聞こえてきて嬉しかったです。



3校でSの絆焼きを実演



岸川先生の話真剣に聞く生徒たち